

第17回放射線プロセスシンポジウム 開催案内 (2018. 7. 9版)

開催期日:平成30年11月21(水)・22日(木)

会場:東京大学 弥生キャンパス 弥生講堂(東京都文京区弥生1-1-1)

主催:放射線プロセスシンポジウム実行委員会
(実行委員長 早稲田大学 教授 鷲尾方一 事務局 (一財)放射線利用振興協会)

支援:岩崎電気(株)、(株)NHVコーポレーション、(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会、
(株)環境浄化研究所、原子燃料工業(株)、(株)コーガアイソトープ、土幌町農業協同組合、
住重アテックス(株)、セティ株式会社、(株)千代田テクノロ、(公社)日本アイソトープ協会、
(一社)日本原子力産業協会、日本照射サービス(株)、浜松ホトニクス(株)、ビームオペ
レーション(株)、(一財)放射線利用振興協会、ラジエ工業(株)

後援:文部科学省、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

協賛:(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会、(公社)高分子学会、(公財)体質研究会 放射線
照射利用促進協議会、(一社)電気学会、(公社)日本アイソトープ協会、(一社)日本医療機
器学会、(公社)日本化学会、(一社)日本核医学会、日本加速器学会、(一社)日本原子力
産業協会、(公社)日本食品衛生学会、(公社)日本食品科学工学会、日本食品照射研究協
議会、(一社)日本電機工業会、(一社)日本非破壊検査協会、(公社)日本表面真空学会、
(公社)日本分析化学会、日本放射線化学会、(公社)日本放射線技術学会、日本防菌防黴
学会、放射線照射工業連絡協議会、(一社)ラドテック研究会

プログラム

講演 招待講演のみ 24件
(特別講演 2件、一般講演 22件、2, 3ページに掲載)

ポスター発表(公募、優秀発表は表彰します。)

公募中 ~8月15日(延長しました。)

応募は申込書 (<http://www.rada.or.jp/fukyu/sympo.html>) 又は同内容記載の
"WORD"ファイル等で事務局へEメール又はFaxでお送りください。

A4版1枚の要旨を9月15日までに提出していただきます。

参加申込み

ポスター発表申し込みと同様、参加申込書を事務局へEメール又はFaxでお送りください。

参加費 5,000 円 (ポスター発表者 2,000 円)、当日申し受けます。

技術交流会 11月21日(水) 18:30に開催します。会費5,000円(当日申し受けます。)

放射線プロセスシンポジウム実行委員会事務局
(一財)放射線利用振興協会 高崎事業所 (担当 須永、前田)

〒370-1207 群馬県高崎市綿貫町 1233

Tel : 027-346-4246 Fax : 027-346-9822

E-mail: radiaproc.sympo@rada.or.jp

HP: http://www.rada.or.jp/fukyu/17th_sympo_kaisaiannai.pdf

プログラム

第1日 (11月21日 (水))

開会式 (10:00)

セッション 1. 線源・照射技術・量子ビーム (3件) (10:15-11:15)

1. 低エネルギー電子加速器の動向 武井 太郎 (岩崎電気 (株))
2. GAFフィルム線量計の利用状況の現状 宮沢 正則 (アールテック (有))
3. 高エネルギー陽電子ビームによる非破壊検査 堀 史説 (大阪府立大学)

セッション2. 放射線教育 (2件) (11:15-11:55)

1. 学習指導要領改訂による放射線教育の新展開
秋吉 優史 (大阪府立大学 研究推進機構 放射線研究センター)
2. 看護職への原子力・放射線教育のための取り組み 須藤 幸雄 (日本アイソトープ協会)

昼食休憩・ポスター発表 (11:55-15:00)

セッション 3. 特別講演-1 (15:00-16:00)

宇宙線ミュオンによる大型構造物の非破壊イメージング
森島 邦博 (名古屋大学)

休憩 (16:00-16:10)

セッション 4. トピカル「放射線利用温故知新」(5件) (16:10-17:50)

1. 放射線プロセスレベル線量計测温故知新 小嶋 拓治 (ビームオペレーション (株))
2. 電子線照射架橋の工業利用についての温故知新 狩野晃一郎 (住友電工ファインポリマー (株))
3. 半導体への放射線照射利用温故知新 松崎 明彦 (サンケン電気 (株))
4. 薄層放射化法によるエンジンの摩耗測定を中心に・(副題;自動車トライボロジーとの関わり)
山本 匡吾 (TPR (株))
5. 医療用具の電子線滅菌についての温故知新 石川 好洋 ((株)ホギメディカル)

技術交流会 (18:30-20:30)

プログラム

第2日 (11月22日 (木))

セッション 5. 高分子材料 (3件) (9:30-10:30)

1. 吸着材の適用範囲を拡張してきた放射線グラフト重合法の歴史 斎藤 恭一 (千葉大学)
2. シクロオレフィンポリマー (COP) の耐放射線性について 澤口 太一 (日本ゼオン(株))
3. 照射臭吸収包材の開発 大塚 龍作 (共同印刷株式会社)

セッション 6. 滅菌利用 (3件) (10:50-11:50)

1. 輸入切り花の電子線、変換X線による防疫処理研究 土肥野 利幸 (農水省 横浜植物防疫所)
2. 医薬品の放射線滅菌規格動向とパラメトリックリリースの実際 山瀬 豊 (住重アテックス(株))
3. 放射線滅菌の品質管理とISO/TC198 WG2の最新情報 松本 敦 ((株) コーガアイソトープ)

ポスター発表表彰式 (11:50-12:00)

昼食休憩 (12:00-13:00)

セッション 7. 特別講演-2 (13:00-14:00)

放射線プロセスの特徴とこれからの展望
鷲尾 方一 (早稲田大学)

セッション 8. 食品照射 (2件) (14:20-15:20)

1. 食品照射の世界的な進展と今後の展望(英語による講演) Yves Henon (前IAEA)
2. 食品照射の最前線 ~香辛料や牛レバーへの利用はどうなったのか~
小林 泰彦 ((国) 量子科学技術研究開発機構)

休憩 (15:20-15:30)

セッション 9. 生物・医療への利用 (4件) (15:30-16:50)

1. イオンビームで産業微生物をつくる 佐藤 勝也 (国)量子科学技術研究開発機構)
2. 細胞を操るタンパク質ゲル足場の開発 大山 智子 ((国)量子科学技術研究開発機構)
3. チェレンコフ光閾値以下のエネルギーの放射線照射による水の発光現象の発見と線量分布測定への応用 山本 誠一 (名古屋大学大学院医学系研究科)
4. リアルタイムMRI画像による放射線治療 井垣 浩 (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

閉会式 (17:00)

会場のご案内

会場

東京大学弥生キャンパス内 弥生会館
〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内



地下鉄

東京メトロ [東大前駅](#) (南北線) 徒歩1分

東京メトロ [根津駅](#) (千代田線) 徒歩8分

都バス

御茶ノ水駅 (JR中央線、総武線) より

茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車所前行

東大(農学部前バス停)下車徒歩1分